

THE NA Way MAGAZINE

世界中で読まれているNAの定期刊行物



2017年10月発行
第34号 ◆ 4号



ふいふえってみると



WCNA37速報:・事前の参加登録・ホテルのご案内・スピーカーおよびスピーカー選考委員の募集



世界中で 読まれている NAの定期刊行

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのを待っている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんなこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマスワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されてはいない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.orgにeメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine : ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマスワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

編集者から、ひとこと

NAのワールド サービス オフィスでは、一週間が慌ただしく過ぎていった。日常の業務に追われながら、WCNA 37の参加登録受付開始日のお知らせもしてと、てんてこ舞いだった。みんなの話題が、来年のワールドコンベンションに集中するなかで、わたしは29年前に初めて（やはり同じオーランドで開催された）WCNAに参加したときのことを思い出していた。あれから回復の道を歩むことで、わたしの人生はずばらしいものになった。なんともありがたいことだと思う。それはさておき、今月号では『NA Wayマガジン』の歩みを振り返ってみよう。20年前のことになるが、何年もかけて棚卸を行なった末にワールドサービスは再編成されることになり、その影響は『NA Wayマガジン』にも及んだ。まず、3つの役員会がワールドボードとしてひとつに統合され、さまざまな小委員会の構造が長期的なプランによるシステムに置き換えられた。そして、いくつかの小委員会が独自に発行していたニューズレターが廃止されたことにより、『NA Wayマガジン』はサービスに関する情報とNAワールドサービスの最新情報を掲載する紙面構成になったのだ。この20年という大きな節目を記念して、今月号には1997年6月号（旧来の紙面構成による最後の号）と1997年10月号（新しい紙面構成による最初の号）から何点かの記事を載せている。誌面の都合で、紙版に載せる記事には若干の編集が必要になったけれど、インターネット版には元の記事がそのまま載せてあるし、www.naway.org なら1997年10月から現在に至るまでバックナンバーも全部そろっている。では、みなさん、それぞれにこれまでの歩みを楽しく振り返ってみよう。

ド・J (エディター)

訂正：2017年7月号では、10ページに掲載した写真を誤ってナイジェリアで撮影としましてしまいました。正しくは、リベリアで撮影されたものです。そのことを教えてくれたブッチ・F、ありがとうございました

今月号の掲載記事

特集記事	3	グループ紹介	8
・ジメト		サービスセンター	9
ベーシック・キャプション・コンテスト	4	フェローシップ ディベロップメント	13
わかちあい	5	Calendar	15
・すばらしい贈り物		NAWS Product Update	17
・(ゲイの場合) スポンサー は男性か、女性か？		Coming Soon	18
・無邪気だったころのように…		WCNA 37	19
・H&Iのミーティングを開いた方がいいが、だれもこなかったら？			

電子版はここをクリックすると追加のコンテンツを見られます

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからの便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。



特集

ジメト



ミーティングはすでに始まっていたので、男はそっと入ってきた。部屋を見まわし、なぜか、こっちまで来て私の隣に座った。男は、いまだきめずらしい服装をしていた。まるで古い西部劇のセットから抜け出てきたようだった。男が腰かけるとき、私はとっさに席を横にずらそうとする衝動をやっとの思いでこらえた。あの時はわけもわからず、ジメトと自分の間を空けておきたいと思ったのだが、きっと、見慣れない風変わりな人たちに対する恐れのようなものだったのだろう。

風変わりに思えたのは、その黒々とした長い髪や、バックスキンのシャツに編み上げのブーツ（本人の手作りあることを、あとで知った）という風貌のせいだったのかもしれない。男の黒髪は背中の中あたりまであり、ひとふさ三つ編みにして皮ひもを巻き込み、残りの髪の毛はどさっと真っすぐに垂れていた。色があせて擦り切れたジーンズをはいていて、何か匂いがした。といっても不快ではない。キャンプファイアーの煙のような、森にいるような匂いだった。

見る目がないことによって、私は謙虚さと独善の違いを思い知らされた。私は悪い面ばかり見て批判していたのだ。男は話す番になると、「アディクトのジメトです」と名乗った。その声にはやわらかさがあった。そして話には耳を傾けたいものがあり、私は聞き惚れてしまった。ジメトが話し出したときにはもう、この一風変わった小男について軽はずみな判断を下してしまったことを悔やんでいた。

それから何ヶ月かミーティングで顔をあわせるうちに、私はジメトと親しくなった。それとともに、ジメトが特別な存在にみえるわけもよくわかってきた。ジメトは、ニューメキシコ州北部のホピ族インディアンで、サクラメントの山奥にある保護区でひっそりと一人暮らしを楽しんでいるという話をしてくれた。そこで営む自給自足の生活にやすらぎを覚えるといっていた。そして、病弱な母親に寄りそうために愛する場所を去ったのだが、ほんの数ヶ月後には、ホピ族にまんえんしている薬物依存という病に自分も冒されていたのだという。こうしてアディクションという病気にかかっても、ジメトには助かるという意欲があったために、あの晩、初めてNAのミーティングにやってきたのだ。

そして、ジメトにはもうひとつ特別なところがあった。スピリチュアルな一面を備えていたのだ。それは言葉などではどうにも説明しようがない。説明されても、私にはどうも理解できるものではなかった。ジメトと話していると、つねに、その鋭い眼差しによってこちらの心の奥底まで見透かされているようだった。私が感じていたことはいったい何だったのかと、一度、ジメトに聞いたことがあった。すると、ジメトは笑って、こんなことを言った。「創造主は、魂で心を通わせるものなんだ」。それで、この魂なるものは、私が「聖霊」呼んでいるものことなんだろうかと思った。（訳注：キリスト教における「三位一体（父、子、聖霊）」の「聖霊」）

ジメトは、数年前からグループに姿を見せなくなってしまったが、私は今でも仲間だと思っているし、この仲間から学んだ貴重な教訓も忘れてはいない。私は、以前のように他人のことを軽々しくこうだと決めつけたりはしなくなった。自分とは異なる人たちに対して、もっと寛容な態度を取れるようにしている。いくつもの独善の壁を壊したことで、私の心には謙虚さの真の意味を理解する余裕ができたらしい。これこそが、まさに「創造主」の意図することだろう。私たちはひとりひとりがみな、それなりに、ただひとりの存在なのだ。このようなことを教えてくれたジメト。この親愛なる友人には、感謝することばかりだ。ジメトのことを思い出すと、私は愛と優しさに包まれる。ジメトは山々のふとこに戻ったのだと思うことにしている。アディクションによるしがらみから解放されて、心穏やかに暮らしていると思いたいのだ。

DM（アメリカ合衆国／ニューメキシコ）

この記事は、『NA Wayマガジン』1997年6月号に掲載されたものです。
[ここをクリックすると、元の記事をお読みいただけます。](#)

ベーシック・キャプション コンテスト最優秀賞

ベーシック・キャプション・コンテストに、
応募いただいたみなさん、ありがとうございました。
今回の傑作に選ばれたのは、

ローラ・K

(アメリカ合衆国/ニュージャージー)

です。

**目の前に広がる私たちの人生は
無限に続く地平線のようにだ。**

(『なぜ どのように効果があるのか』、「ステップ9」)



第1回 エスペランサ コンベンション
(アメリカ合衆国テキサス州サンアントニオで開催)
写真撮影者：ギルバート・L
(アメリカ合衆国/テキサス)

BCC 次のお題

ここに、みなさんがNA Wayマガジンに参加できる新企画をご用意しました。左にあるコミックのキャプション(短い説明文)を書いて送っていただくだけで、そのままキャプション・コンテストに参加できてしまうのです。みなさんのキャプションから傑作と思えるもの(1点とは限らないかもしれませんが)を選んで、次回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そうやってNA Wayに名前が載るといっても、なかなかいいものでしょう。

申し込みは、Eメールで受けつけています。宛先は naway@na.org。件名は「ベーシックキャプション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必ず記入するようお願いいたします。

ほかにも優れた応募作があったので、
以下にご紹介しましょう。

気楽にやろう。でも、やることはやる。

アンブシュ・S (ネパール/ダラン) |

.....

なんだか胸騒ぎがする。あ、あんなとこで『伝統』を破っている奴がいる…

クリス・C (アメリカ合衆国/カリフォルニア)

.....

もう一つの贈り物 (『今日だけ』の「1月25日」を読めばわかる)。

エドゥアルド・C (ブラジル/マットグロッソ) |

.....

これだけ年数がたっても、日の出には心を奪われる。ク
リーンでいて、日の出をおがめるってのは、まさに奇跡
以外の何物でもない。

ジム・L (アメリカ合衆国/フロリダ)

.....

ひとつの約束、たくさんの贈り物。
Uma promessa, muitas dadas.

パウロ・ロベルト・F (ブラジル/
リオグランデスル) |

.....

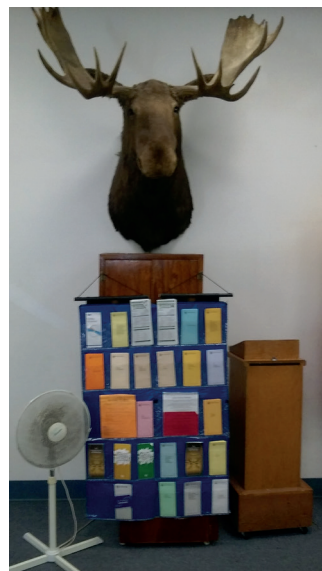
役に立つこと:スピリチュアルなプログラムによる無言
の贈り物。

メリッサ・J (アメリカ合衆国/メリーランド)

.....

「心の平安」をかみしめる。

ジェン・パノス (ギリシャ/テサロニキ)



撮影者：デイブ・T (アメリカ
合衆国/カリフォルニア)

わかちあい すばらしい贈り物

ヤァ、世界中の仲間たち。俺の話は、NAではよく聞く話だ。薬に手を出して長い間使っていたけど、仲間たちがNAプログラムによる生き方を教えてくれたから、今はクリーンでいる。それでも俺は、学ぶことをやめちゃいない。これからしっかり生きていきたいからね。

俺には3歳になる息子がいる。息子にとって、俺はすごくいい父親だ。自分が子どものころに与えてもらえなかった愛情を、息子にはしっかり注いでやれるからだ。とはいえ、回復の道を歩み出したころには、戸惑うばかりだった。自分が抱く感情を受け止めきれなくて、息子のこともどうしていいのかわからなかった。親らしいことができないことにものすごく罪悪感があった。だが、自分自身と自分の回復に責任が負えないなら、他人のことも責任が負えるわけがないと、スポンサーが教えてくれた（スポンサーに神のご加護を）。息子の母親とは一緒に住んではいないが、いい関係でいる。俺たちは二人とも、息子を武器にしてお互いを傷つけるようなことはしないし、そうやって息子を大事にできるのも回復のおかげなのだと思っている。

俺はまだクリーンになってそう長くない。もうすぐNAで3年目のクリーンタイムを祝う。俺にとっては、長い道のりだった。そして、スウェーデンのNAは誕生して10年を祝ったばかりだ。そのときには、回復の道を歩む仲間たちとひとつになって喜びをわかちあった。それもまた、すばらしい贈り物だよ。

昨夜のミーティングで、自分が過ちから学べるくらい正気に戻してもらえたのを、なんともありがたいことだと思った。昨日は、ミーティングに行こうとしてかつて住んでいた地域を通りかかったら、昔なじみに会ったんだ。そいつは俺に、「とびきりのを持っているやつを知らないか」と聞いてきた。俺は、そいつをNAのミーティングに誘ってやればよかったのに、そうしなかったんだよ。

今日は、これからアパートを掃除する。夜には、息子が家にくるんだ。二人とも風呂に入って、俺はヒゲを剃り、二人でベッドを整える。これは必ずやることにするんだ。そして俺は眠りにつく。そりゃもうぐっすり。こんないい気分は、薬物なんかでとても味わえるもんじゃない。俺はこれからも、一日、一日と、NAで仲間たちと回復の道を歩みつけていく。すばらしい人生を送らせてもらえることに、心から感謝する。

アンダーズ・S (スウェーデン)

この記事は、『NA Wayマガジン』1997年10月号に掲載されたものです。

[ここをクリックすると、元の記事とアンダーズによる近況報告をお読みいただけます。](#)

(ゲイの場合) スポンサーは男性か、女性か？

スポンサーを女性にすべきか、男性にすべきかは、悩むところだ。これについて、NAのインフォメーションパンフレット『スポンサーシップ』では「…同性のメンバーの方が、性的なこと、家族問題やアイデンティティの問題、対人関係など、ある種の問題を理解しやすい」※ としたうえで、性的に惹きつけられる可能性のある人とのスポンサーシップは、私たちがプログラムからそらす恐れがあるとも書いている。

このような原則は、異性愛者のNAメンバーたちにはうまくなじむようだが、ゲイ（同性愛者）の男性である私の場合にはどうなのだろう。ゲイの男性をスポンサーにすればいいのか？ この場合は、きっと強い共感が生まれるだろうが、スポンサーに性的な魅力を感じて気が散ることにもなりかねない。ストレート（同性愛者ではない）の女性をスポンサーにする場合には、同じ道を歩む仲間同士として認めあえるので、性的な面や感情面でのものつれによるリスクを（とりあえず私の方では）回避できる。しかし、同性愛者ではない女性には、アメリカ社会でゲイや男として成長するのがどういうことなのか知りようがない。レズビアンをスポンサーにする場合には、性的もしくは感情的なものつれによるリスクがないにしろ、共感ということではやはりいいこともある。最後に、ストレート（同性愛者ではない）の男性にスポンサーを頼む場合はどうか。私の方に性的な緊張をもたらすリスクはどうあれ、男性同士であっても共感はしにくいし、この男性が意識的または潜在的に同性愛を嫌悪しているというリスクがあるかもしれない。そしてレズビアンの女性にも、まったく同じではないにしろ、似たような葛藤がある。

最近、ストレートの男性をスポンサーにしているゲイの仲間から聞いたところでは、ステップに取り組むのを手伝ってもらうためにスポンサーシップを利用しているが、対人関係の問題や性的なことに対処するにはゲイの仲間たちを頼りにしているようだ。

NAという集まりでは、男女による「心の結びつき」が回復の邪魔になるとし、この問題さえなければスポンサーシップにうるさいことを言うこともないと思われていた。だが、NAとは本来、性的な嗜好を問わずだれもが仲間になれる集まりを意味するのなら、NAは、その文献が異性愛にもとづく偏見によってさまざまな葛藤を生じさせることに、細心の注意を払ってしかるべきだろう。

CP (アメリカ合衆国/カリフォルニア)

この記事は、『NA Wayマガジン』1997年6月号に掲載されたものです。ここをクリックすると、元の記事をそのままお読みいただけます。

※編集者注：IPナンバー11（スポンサーシップ）は、メンバーの多様性をよりよく反映するように、2004年に部分的に改訂されました。

無邪気だったころのように

1968年のことだった。「フラワー・パワー」* がベトナム戦争と闘うなかで、ジミー・ヘンドリックス、ボブ・ディラン、ジャニス・ジョプリンなどがこぞってイギリス勢の侵入に対抗していた。「モータウン」* は、自分たちの「ソウル（魂）」を売りだしていた。「キャプテン・カーク」はどこへ行こうとしていたのか…「バットマン」も、映画にはなっていなかった。国家は、ケネディの暗殺をけっして克服できないことを黙々と学びつつあった。世の中にくらべたら、僕の世界などちっぽけなものだった。

あの夏、僕はリトルリーグのチャンピオンであるカブズのキャッチャーをしていた。僕には、ポーラというおきまりのガールフレンドがいた。あのころのふたりは、無邪気で、やましいことなど何もなかった。一緒にいるだけで楽しかった。外の縁石に腰かけ、さもなきや家でソファに座って、宿題をしたり、音楽を聴いたり、大人になることを夢見ていたりした。週末になるとよく、地元のレクリエーションセンターで開かれるダンスパーティーに行ったものだ。バンドが演奏するなか、僕らはうっとり見つめあう。ふたりの洋服の白い部分が、ブラックライトに照らされてネオンのように輝いていた。僕にも、ポーラにも、友達がたくさんいた。人を受け入れやすい時代だった…だから、僕らは大いに楽しみ、向こう見ずでいられた。そうしているかぎり、自分のことで思いわずらうこともなかったように思えた。そしてあの夏が終わりと、冬になると、僕の生き方は変わっていった。

僕は薬物にも興味があって、試さずにはいられなかった。すでにアルコールは試していた。面白半分のつもりが、ある夜、ひどく飲みすぎてしまった。それまでにはうすうす、自分のやっていることがまともじゃないと気づいていたので、ひどい二日酔いの症状にショックを受けた。

二度と「酔っぱらおう」なんて気にはならないだろうと思った。でも、クスリの方は副作用と言えるようなものがなかったの、僕はクスリをやりたいがために生活や友達を変えていった。それから3年もしないうちに、僕の人生はハイになりたという欲望によって激変した。金を稼げばもっとクスリをやれるという理由で、僕は学校をやめてフルタイム（正社員）の仕事についた。そして、自分よりずっと年上で素性のわからない男とアパートに同居して、その男のためにクスリを売ることにした。そんな男のいいなりになったのも、売人になればもっとクスリが手に入ると思えたからだ。飲酒もハイになれるものだったから、二日酔いはつきものとして受け入れるようになっていった。僕は、15歳になるかならないかでめちゃくちゃになり、知らないうちに最後の一線を越えてしまっていた。

15の春に、母親と校長から説教を食らった。僕はそれをおとなしく聞き、復学してやり直そうとしたのだけど、学校にいても、かつての友だちといえども、家族との団らんのひとつときであっても、もう身の置きどころがなかった。ハイになっていないと、とけこんでいる気がしなくなってしまったのだ。こうして僕は、アディクションという生き地獄に向かって破滅の道をまっしぐらに進んでいった。

やがて、周囲が僕の狂気につきあいきれなくなり、何もかも裏目にでるようになった。僕は虚しさに心をかき乱されるようになり、その虚しさはハイになっても埋めきれないほど大きくなっていった。孤独を覚えるようになったが、それは今に始まったことではない。最初は、一匹狼をきどって自己憐憫にひたりながら自分をなぐさめていたが、ついにはあまりにも虚しくていたたまれなくなった。僕が生きていた孤独は、とてつもなく広大で、ものすごく深く、まったく空っぽで、痛みに満ちたものだった。こんな状態でおかれるなんて、神も仏もないのかと毒づいた。それほどに助かりたかった。その破れかぶれの命乞いを捨ててはおけないと、拾う神がナルコティク

クス アノニマスにいたことで、僕は降伏した。

NAには自分と同じ思いをしてきた人たちがいるとわかり、僕はみんながわかちあってくれる希望にしがみついた。そして自己チューになったり、怒ったり、自己憐憫におちいつたりしながらも、そういう自分の凶器をNAプログラムのスピリチュアルな原理と取り替えるべく、提案を受け入れて12のステップに取り組んでいった。

埋め合わせをするということは、行いを正すということだ。まずは、自分自身との関係を修復することから始めなさいとスポンサーに言われた。なぜなら、自分をしっかり受け止めることができなければ、僕はまちがった理由で埋め合わせをすることになりかねないからだ。それで僕は、埋め合わせを行うだけの価値があるものにするつもりなら、自分がどこで最後の一線を越えたのを知り、そこから自分との関係をもう一度築き直さなければならないことがわかった。回復には、それなりの道筋があるというわけだ。

僕は、それまでの人生ですっきり否定的なモノの考え方をするようになっていたため、回復の過程で学ぶスピリチュアルな原理によって行動しようとする際に、そのような考えを捨て去らなければならなかった。要するに、僕は否定的なモノの考え方でがんじがらめになって、出口のない絶望感や孤独感にはまり込んでしまったのだ。だから、NAで学ぶ新しい考え方は、僕が理解する神につながる道を照らしてくれるものなんだ。

クスリを断ってステップに示される原理を実践していれば、僕はあらためて成長していけるだろう。これからは当分の間は、NAの原理による行動修正に励むことになるはずだ（鉄は早いうちに打て、っていうしね）。こうして一日、一日と生きるようになった今は、使わずにいられないことによる良心の呵責に苦しまなくてもいいし、それによって使っていたころとは違うことを自覚する。そして、一線を越える前の無邪気だったころのようにのびのびできるのが、僕の目標だ。いつの日にか、アディクションによって身につ



いた癖を捨て去ることができたら、安心してリトルリーグチャンピオンのキャッチャーに返り咲くことができるだろう。回復の道を歩んでいれば、僕は希望と信じる気持ちを失うことはない。

M・S

(アメリカ合衆国/フロリダ)

(訳注)

*「フラワー・パワー」：1970年代のヒッピー世代が唱えた反体制的なスローガン。みずから「フラワー・チルドレン」と称し、愛と平和の尊さを訴えた。

*「モータウン」：黒人によって作られた最初のレコードレーベルで、ソウル・ミュージックとして有名

.....
この記事は、『NA Wayマガジン』1997年6月号に掲載されたものです。ここをクリックすると、元の記事をそのままお読みいただけます。

H&Iのミーティングを開いたはいいが だれもこなかったら？

悲観的と言われるかもしれないが、これは約1年にわたっておれたち4人が直面したことだ。そもそも6年ほど前に、おれはペンシルベニア州南西部のかなり辺鄙な地域に引っ越してきた。平穏で静かなのがすばらしかったし、それは今も変わらない。ホントにいいところだ。それなのに3年して、おれは群の刑務所に入れられてしまった（これはまた、別の話だ）。投獄されたのは数時間だったが、その間に、おれは引っ越す前にいた都市でH&Iにかかわっていたことを考え、自分が新たに

住むことになった地域にはH&Iの委員会があるのだろうかと思った。

それから2週間ぐらいして、地元のH&I委員会の委員長と話げできた。それによると、この委員会では数年前まで定期的に群刑務所にパネルミーティングを運んでいたのだが、そのミーティングは打ち切りになってしまったので、自分たちの責任を果たしたくても果たせずにいるということだった。それなら話は早いとばかりに、おれたちは何本かの電話をかけ、コーヒーを何杯も飲んで話し合ったあと、刑務所長のオーケーをとりつけて群刑務所にパネルミーティングを運ぶことになった。やる気のあるパネルリーダーが4人いることで、おれは大いに気をよくしていた。この4人でパネルミーティングを復活させるんだ。今度はうまくやれるだろう。

そして、第1回目はうまくいった。受刑者たちのほとんどはそれまでNAのことなど耳にしていかなかったが、みんな気のいい連中でちゃんと話を聞いてくれた。だが最初の1ヶ月が過ぎると、出席者が1人抜け、2人抜けしていった。それから5ヶ月の間に状況は悪くなる一方だった。とうとう、このパネルミーティングに受刑者が一人もやってこない時期が7ヶ月に及んだ。おれたちは胸がはり裂けるおもいだった。受刑者の出席がゼロにひどい状態が1年間続いたのち、われらがH&I委員会の委員長が刑務所長に電話をして、NAのミーティングを開いてほしいという受刑者がいたら連絡

をくださいと伝え、このH&Iパネルミーティングは打ち切りとなった。

おれは、あの晩、あの刑務所にぶち込まれたが、あのときよりずっとくやしかった。自分の動機を疑った。自分の意志で突っ走っていたのだろうか。ミーティングに行ったら、そのことをわかちあった。そうするうちに、あるミーティングでひとりの男を見かけた。刑務所にいたアディクトだ。おれたちが刑務所でミーティングを開いていた最後の何ヶ月かの間に出席していたんだ。その男は、クリーンにとどまろうとしていると言い、H&Iのパネルミーティングが自分の人生に変化を起こしてくれたことに感謝していた。わあお！

おれたちは今あらためて、それほど辺鄙ではない地域の矯正施設で行われるH&Iのサービスに参加させてもらっている。月に4回のパネルミーティングを開き、毎回20~30人のアディクトが出席している。というわけで、H&Iのミーティングを開いたはいいが、だれもこなかったらどうするか。それは「だれもこない」というのを、どう解釈するかにもよるだろうな。

デイビッド・J

(WSC H&I 委員会* 副委員長)

.....
この記事は、『NA Wayマガジン』1997年10月号に掲載されたものです。ここをクリックすると、元の記事をそのままお読みいただけます。

.....
*編集者記： 1998年までは、ワールドサービスカンファレンスには常設の委員会がいくつかありました。

ご協力をお願いします！

NA Way ニュースレター特集号

ガイドラインもお寄せください！

世界各地のNAのニュースレター委員会には、それぞれのニュースレターの郵送先リストに『NA Wayマガジン』を加えていただくか、それぞれの最新号を送っていただくようお願いしました。ご協力いただいたみなさんには感謝いたします。今ならまだ間に合うので、naway@na.orgを郵送先リストに加えていただくとともに、ニュースレター特集号に掲載する資料（記事やアート作品など）があれば、ぜひお寄せください。記事の掲載にあたっては、出典のニュースレター名を明記するほか、（URLがある場合には）インターネット版の『NA Way マガジン』によってみなさんのサービス機関やニュースレターのWebページにリンクできるようにいたします。

そのほかにも、みなさんにはニュースレターのガイドラインも送っていただくようお願いしました。すでに送られてき

たものについては、www.na.org/localresourcesにある「ローカルサービスリソース」というページ* にアップロードされています。今ならまだ間に合うので、naway@na.orgへみなさんのガイドラインをお寄せください。世界中のニュースレターによるサービスの取り組みに、みなさんのガイドラインを活用してもらいましょう。

ご協力をお願いします。

*このページに掲載される資料は、世界各地のサービス機関によって作成されたものです。（特に明記されていない限り）NAワールドサービスまたはワールドサービスカンファレンスによって承認または提携されたものではありません。ほかにも共有すべきサービスの資料があれば、fsmail@na.orgまで



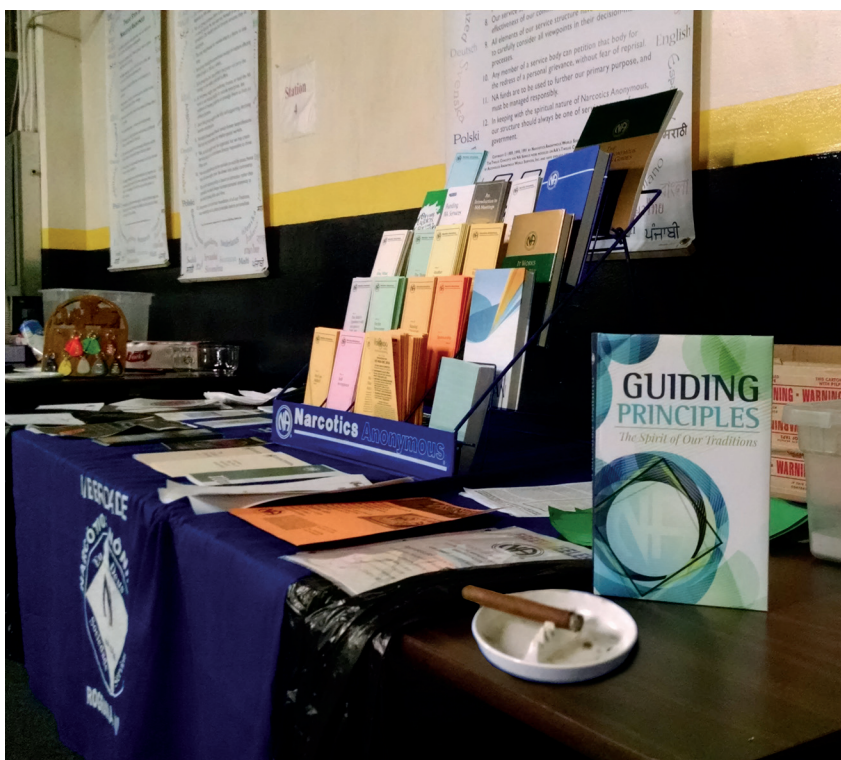
グループ紹介

NAWayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしております。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮ください。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、ユニークな点など、グループやイベントの紹介文を添えていただくようにお願いします。宛先は、naway@na.org となっています。

42年のあゆみ

私たちのグループは、1975年に誕生しました。当時のクリーンタイムが長いメンバーが自宅でミーティングを開いたのが始まりです。その後、1975年になって「サバイバーズ・クラブ」（スタジオ・シティ近隣にあるNAで最初のクラブハウスのひとつ）に会場を移しました。それからまたバーバンクの教会に移転し、さらにノース・ハリウッドの病院へと移ったあと、同じノース・ハリウッドにあるピンゴ・ホールに移転して現在に至ります。このピンゴ・ホールでは、1988年から毎週火曜日の夜にミーティングを開いてきました。ミーティングではまず、キータッグを手渡し、メダリオンのケーキをふるまって回復を祝います。そのあと、その週に取りあげるステップをみんなで読み、司会の仲間がそのステップに取り組んだ経験をわかちあってから、全員がわかちあうことになっています。ミーティングの終わりには、つながったばかりで『ベーシックテキスト』をもっていない仲間がいたら一冊進呈するとともに、新しくつながった仲間には必ず、電話番号のリストとIP（インフォメーションパンフレット）を何種類かセットにしたものを渡しています。出席者は25~50人までその時ごとに変わり、それぞれのクリーンタイムもワンデイから30年を超えるまでさまざまになっています。そして、この「ノース・ハリウッド・ステップスタディ・グループ」は、知る人ぞ知る「シガー・ミーティング」でもあります。現在では希少な喫煙のできるミーティングのひとつなのだから、葉巻をゆっくり味わいながらでないステップスタディは始まらないというメンバーが、うちのグループには何人かいるからです。

ノース・ハリウッド・ステップスタディ・グループ



手話通訳

みなさんのNAでは、コンベンションやイベントによるスピーカーのわかちあいに手話通訳を提供していますか。その際には、手話通訳の様子を録画しているでしょうか。そうであれば、聴覚障害者や聴覚障害のあるNAメンバーたちにもっと手を差し伸べるために、ご協力をお願いします。手話通訳の様子を録画したビデオがあれば助かるというNAは少なくありません。ですから、na.org/localresources によって利用してもらいましょう。このWebページには、世界中のNAから提供されたサービスの資料と道具が掲載されており、どれも自由にダウンロードして、各地のNAにあったやり方で利用できるようになっています。みなさんがNAスピーカーのわかちあいを手話通訳した映像を持っているか、あるいは、そのような映像資料を探しているのであれば、fsmail@na.org までご連絡ください。





サービスセンター

ひとりひとりのメンバーが、回復という神の恵みを与えられることによって、スピリチュアルな成長を遂げながらサービスによる充実感を味わうこと。

サービスにたくす未来

NAのサービスシステムによって私たちが取り組む活動はどれひとつをとっても、「サービスにたくす未来」があるから意欲をかきたてられるのです。今月号では、「サービスの場における回復の雰囲気」と「テクノロジーとソーシャルメディア：NAの原理を活かす」という2つのIDT（検討すべき課題）に関する情報をはじめ、サービスに関する記事をいくつかをとりまぜて掲載しています。それに加えて、NA Wayマガジンが現在の紙面構成になって20周年を迎えるお祝いの一環として、1997年10月号に掲載された記事を1つ再掲載しました。そこには、ひとりのメンバーがワールドサービスカンファレンスに出席した経験が独自の観点でつづられています。そして、この欄の最後には、世界各地のNAのためにサービスの道具を開発している2つのプロジェクトに関する最新情報とともに、現行のH&IおよびPRに関するウェブミーティングのお知らせも掲載しています。

あるメンバーによる ワールド サービス カンファレンス 見聞録

ぼくはこうしてワールド サービス カンファレンスの席に着き、ここであったことをリージョンに報告するために内容をまとめようとしている。きっと簡潔な報告書になってしまうだろうけど、今はカンファレンスの感動的な瞬間のことで頭がいっぱいだ。今回のぼくは、気がつくとき喉をつまらせ、声が震えていた。一度ならず、そんなふうになら「人前で泣きそう」になったのは、カンファレンスに出席するのが今年で最後だという思いがあったためか。いや、そうじゃない。

フィリピンの代表が、カンファレンスの出席者たちに向かって原点に戻ろうと訴えたときも、あるいはWSOのエグゼクティブのひとりであるアンソニー・Eが壇上に立ち、1997年に職場で亡くなったスタッフメンバーのデビー・Gのことで涙をこらえていたときも、心を揺さぶられたのはぼくだけじゃなかった。そして、クリーンになって14日の新しい仲間が「どうすれば、ここに参加できるのか」とたずねると、カンファレンスの出席者が全員立ち上がって「もう参加してないか」と力強く応えたときに、よろこびをかみしめたのはぼくだけじゃなかった。さらに、日本のリージョン代表が通訳者をとおして話し終えると、マイクに向かって一步身を乗り出し、「ひとりじゃ無理でも、みんながいればできるわ」と英語で言ったとき、涙をこらえたのはぼくだけじゃなかった。

ワールドサービスカンファレンスというのは、議事法の後半にある運営手順や、議事録に記されているさまざまな動議をみただけじゃわからない。もっといろんなことで成り立っているのだ。たぶん、議事の可決や否決の内容によってカンファレンスを評価する人たちもいるだろうが、ぼくは、上に記したいいくつかの出来事とその当事者たちを目の当たりにしたことによって、きわめて個人的な観点から今回のカンファレンスを評価するつもりだ。

ニック・G (アメリカ合衆国/マサチューセッツ)

OUR VISION IS THAT ONE DAY:

All of the efforts of Narcotics Anonymous are inspired by the primary purpose of our groups. Upon this common ground we stand committed.

A VISION for NA Service

Honesty, trust, and goodwill are the foundation of our service efforts, all of which rely upon the guidance of a loving Higher Power.

OUR VISION

honesty

TRUST

GOOD WILL

EVERY ADDICT in the world has the CHANCE to *experience* our message in his or her own **language** and **culture** and find the *opportunity* for A NEW WAY OF LIFE;

EVERY MEMBER, INSPIRED by the *gift of recovery*, experiences spiritual GROWTH and FULFILLMENT through **service**;

NA SERVICE BODIES WORLDWIDE work together in a *spirit of unity* and **cooperation** to support the **GROUPS** in *carrying* our MESSAGE OF RECOVERY;

NARCOTICS ANONYMOUS has UNIVERSAL RECOGNITION and **respect** as a **VIALE** program of *recovery*.

ここをクリックすると、『NA Wayマガジン』1997年10月号に掲載された元の記事をそのままをお読みいただけます。

サービスの場における回復の雰囲気

「サービスにたくす未来」では、「ひとりひとりのメンバーが、回復という神の恵みを与えられることによって、スピリチュアルな成長を遂げながらサービスによる充実感を味わう」ときのことを見据えています。ここでいうスピリチュアルな成長と充実感は、回復の道で私たちに与えられる最大の贈り物ですが、これを現実のものにするためにはサービスの場における回復の雰囲気が不可欠となるのです。世界中のNAで、メンバー同士が刺激しあって共に成長していこうとしていけば、このような雰囲気も生まれるでしょう。

サービスによる一体性はふとしたはずみで生まれるものではありません。私たちはNAの『伝統』と『概念』によって示されるスピリチュアルな原理のもとで、広い心と基礎知識を持ってサービスに取り組む必要があります。基礎知識は、グループの良心や誠実さやアノニムティなど、数多くのスピリチュアルな原理を実践していれば身につくでしょう。これに、私たちがサービスにかかわるなかで深める友情が加わることで、NAの一体性は強化されるのです。NAの『ベーシックテキスト』では、NAグループには共感と回復による雰囲気也不可欠であるとしています。私たちが回復の過程で学んだことをサービス機関による活動に活かせば、サービスの場にも力強い回復の雰囲気が生まれるのです。

「サービスの場における回復の雰囲気」をIDT（検討すべき課題）にすることで、みなさんの経験から「スピリチュアルな成長を遂げながらサービスによる充実感を味わうこと」がどのようなものであるかわかれば、ほかの人たちがサービスの場で回復の雰囲気に触れることができるようにする方法もわかるのではないかと思います。このIDTをテーマにワークショップを開き、「スピリチュアルな成長と充実感」という言い回しが私たちひとりひとりにとってどういう意味を持つのかを話し合いながら、以下にある質問を検討してみましょう。

- ・自分には、どのようなことがサービスの場における回復の雰囲気だと思えるか。
- ・自分自身や自分のかかわるサービス機関は、サービスの場で回復の雰囲気を育むために何をすればよいのか。
- ・NAの奉仕を任されたしもべは、サービスにかかわることをもっと魅力的なものにするためにどのようなことをすればよいのか。
- ・得意なことなら、楽しくやれる。メンバーがそれぞれの技量や能力をいちばん活かせる方法でサービスにかかわろうという気になるには、どうすればいいか。

この「サービスによる回復の雰囲気」をはじめ、ITDに関するワークショップの資料はすべてwww.na.org/ID で入手可能になっています。みなさんがワークショップで書き留めた話し合いの内容は、worldboard@na.or によって共有していただくようお願いいたします。



みなさんのNAでは、このサービスという文化を活性化させるために、ひとりひとりがどのような行動をとることになりましたか。

私は

ご記入いただいたカードは、写メールでも受け付けています。wb@na.orgへ送信してください。

Atmosphere of Recovery in Service

テクノロジーとソーシャルメディア： NAの原理を活かす

アプリや、ソーシャルメディア、ウェブサイト、オンライン掲示板など、多種多様なテクノロジーが普及することは、NAにとって機会の到来であると同時に、困難の訪れでもあります。メンバーの多くが家族や友人とつながり、個々の経験や意見を共有し、NAの仲間たちと交流するためにソーシャルメディアを利用しているし、しかも、ソーシャルメディアを利用しているか、あるいは利用することを検討しているというサービス機関も少なくないからです。

既存の資料

ソーシャルメディアの利用を更なるものにし、なおかつNAのスピリチュアルな原理から外れないようにするため、NAにはさまざまな資料がそろっています。たとえば、ソーシャルメディアに関する実用的なアドバイスが得られるサービスパンフレットは、ひとりひとりのメンバーが利用する場合にも、NAのサービス機関で利用する場合にも役立ちます。これ以外の資料は、NAの原理とこの原理をサービスに生かすことに重点を置いています。現在利用できる資料の一部を、以下にご紹介しましょう。

- ・『[ソーシャルメディア・アンド・アウェア・ガイディング・プリンシプルス](#)』サービスパンフレット
- ・『[パブリックリレーションズ\(広報活動\)・ハンドブック](#)』
- ・『[PR\(広報活動\)・ベーシックス](#)』
- ・『[なぜ どのように効果があるのか](#)』で各伝統について論じている章
- ・[新たに誕生したNA文献『ガイディング・プリンシプルス：ザ・スピリット・オブ・アウェア・トラディションズ』](#)

ソーシャルメディアは、情報を見つける手段や、イベントの案内をする手段、そしてさまざまなニュースを共有する手段であり、急速に普及しています。組織や団体の場合には、ソーシャルメディアの存在がさまざまなかたちで重要になっています。メンバーたちをまとめることや、活動内容を人々に知らせることや、その存在を一般社会に周知することなどに役立つからでしょう。とはいえ、NAのメンバーやサービス機関の場合は、ソーシャルメディアがNAの原理のいくつかに対して特定の課題を突きつけることとなります。たとえば、個人の匿名性を守ることと、NAの一体性を維持すること。この二つが困難になるということは、私たちがインターネット上でまちがいがなく遭遇する厄介な問題の最たるものでしょう。

この「テクノロジーとソーシャルメディア：NAの原理を活かす」というIDTによって、私たちは以下のような問題を慎重に考えながら議論することを迫られるのです。

- ・ソーシャルメディアを利用するときに働く（あるいは、働いてしかるべきなのに働いていない）NAの原理には、どのようなものがあるか。
- ・ソーシャルメディア、NAメンバー、またはサービス機関としてこれらの原則を適用することについて、どのような成功を共有できますか？
- ・ひとりのメンバーとしてソーシャルメディアを利用する場合や、あるいはサービス委員会としてNA内で連絡を取り合うためにソーシャルメディアを利用する場合に、NAの原理を活かそうとして直面した課題にはどのようなものがあるか。

この「テクノロジーとソーシャルメディア：NAの原理を活かす」をはじめ、ITDに関するワークショップの資料はすべて、www.na.org/IDで入手可能になっています。みなさんがワークショップで書き留めた話し合いの内容は、worldboard@na.orgによって共有していただくようにお願いします。

テクノロジーとソーシャルメディア：NAの原理を活かす

大人数のグループによるブレインストーミング

ソーシャルメディアを利用するときに働く（あるいは、働いてしかるべきなのに働いていない）NAの原理には、どのようなものがあるか。

大人数のグループによるディスカッション

1. NAのメンバーまたはサービス機関として、ソーシャルメディアを利用する際に上記の原理を活かすことについてどのような成功例が共有できるか。
2. ソーシャルメディアの利用にNAの原理を活かそうとして直面した課題にはどのようなものがあるか。
 - ・ひとりのメンバーとして利用する場合。
 - ・サービス委員会としてNA内で連絡を取り合うために利用する場合。

少人数のグループによるディスカッション

1. どんな原理が欠かせないものになるか？
2. やりがいのあることだと考えてNAの原理を活かすとすれば、どのような解決策を提案できるか？

大人数のグループによるディスカッション

1. 自分たちのサービス機関では、ソーシャルメディアをパブリックリレーションズの道具にしてきたか？
2. これまでの経験では、何がうまくいき、どんな困難があったか？

ツールボックスプロジェクトに関する最新情報

2016年度のWSC（ワールド サービス カンファレンス）では、サービスに関する資料を開発するプロジェクト案が可決されました。このプロジェクトは、フェローシップ調査の結果によって「ローカル（国や地域ごとの）・サービス・ツールボックス」と「コンベンション・アンド・イベント・ツールボックス」という資料の開発に当てることになりました。

ローカル・サービス・ツールボックス・プロジェクト

私たちは、このプロジェクトに関するウェブページでアンケートを行い、最優先で取り組むべきツールを2つ選んでもらいました。それによって、「コンセンサス・ベースド・ディシジョン・メイキング（CBDM）ベーシックス（合意にもとづく意思決定の基本原則）」の原稿作成と、遠隔地でサービスにかかわるメンバーのためのツールの作成に着手することに決まりました。なお、このプロジェクトのウェブサイト na.org/toolbox では現在、「CBDMベーシックス」の原稿が入手可能になっています。

また、遠隔地のサービスについては、これまでに何回かウェブ会議を開きました。ここでさまざまなアイデアが共有された時点で、すでに遠隔地のNAでサービスにかかわるメンバーたちに役立つツール作りが始まっていたといってもいいでしょう。このウェブミーティングに関する資料は www.na.org/ruralservice に掲載されています。

このツールボックスと遠隔地のサービスに関するプロジェクトでは、現時点で350人を超えるメンバーが連絡先リストに名を連ねています。リストへの記載を希望する場合は、件名「ツールボックス・プロジェクト」で toolbox@na.org へ、または件名「遠隔地のサービスに関するミーティング」で nick@na.org へと、Eメールでご連絡ください。

コンベンション・アンド・イベント・ツールボックス・プロジェクト

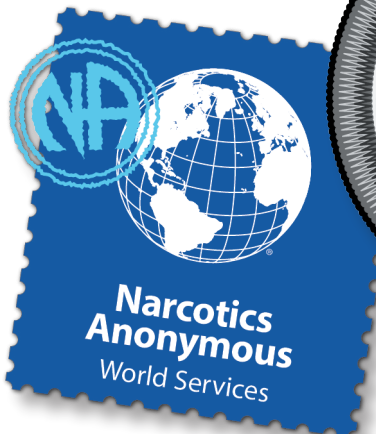
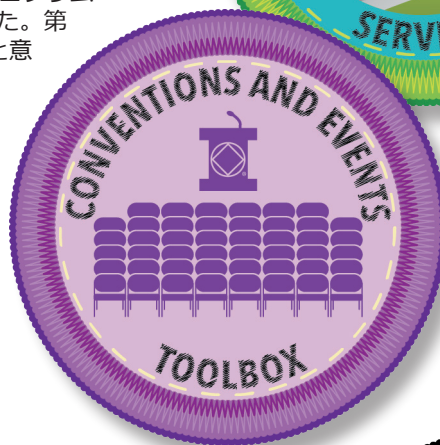
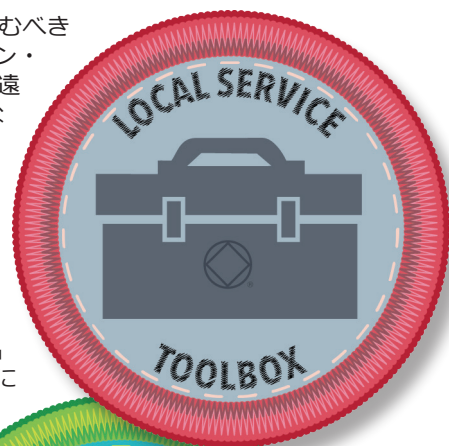
旧版の『コンベンション・ハンドブック』が改訂されてからすでに何年も経ったため、そろそろ新たな改訂に取り組むことになりました。これによって、世界各地のNAでサービス委員会が主催するコンベンションやイベントについて最新の成功事例と経験が掲載できるでしょう。

私たちはこれまで定期的にウェブ会議を開いてきたことで、多くの出席者から資料や意見を提供していただきました。プロジェクトへの参加希望者の最新のリストには、世界各地から140人を超えるメンバーが名を連ねています。これだけの協力者がいるのだから、いくつかの道具ができあがったときには、その出来栄は満足のいくものになっているでしょう。すでに原稿作成のプログラム・ツールをウェブサイトに掲載して、見直しと意見提供を求めました。第2弾として、まもなく金銭管理に関するツールを掲載し、見直しと意見提供を求める予定です。

conventions@na.org にメールをいただければ、ウェブ会議の通知を配信いたします。また、プロジェクトに関することは、ウェブページ www.na.org/conventions をご覧ください。

現行のウェブ会議： PR および H&I

私たちは、PRとH&Iについても定期的にウェブ会議を行っています。議事進行役はNAWSがつとめていますが、テーマを決めるのはPRとH&Iのサービスにかかわっているメンバーたちです。 pr@na.org か handi@na.org のいずれかに名前とメールアドレスをお知らせいただければ、どなたでも参加できます。次回の開催予定は、H&Iウェブ会議が11月16日午後4時（太平洋標準時）で、PRウェブ会議が2018年1月11日午後4時（太平洋標準時）となっています。





フェローシップ ディベロップメント

NAの成長とともに、世界中のアディクトがみな、NAのメッセージを受け取って新しい生き方ができる日がくるだろう。このような未来像に向かって、私たちはこれからも歩みを進めていく。今月号では、5月から7月にかけて実施されたFD（フェローシップディベロップメント）のなかで、最も重要なものをいくつか紹介しよう。いずれも、NAWSがNAを代表して行わせていただいたものだ。私たちがサービスを提供する人たちと直接交流する機会をいただいたことに、いまでも感謝の気持ちでいっぱいである。

- 2017年の6月11日～18日にハイチで2回目のFDを実施するため、遠征チームを結成することがワールドボードによって承認された。今回は、目標を2つに定めた。ひとつは、「スピリチュアリティ・アンド・メンタルヘルス・センター（精神性および精神保健衛生センター）」による第7回のシンポジウムで、200人の治療の専門家と学生にNAのことを知ってもらうこと。もうひとつは、ハイチのために救援活動の最前線で尽力する地域社会の人たちにNAを紹介すること。ハイチには、教会でミーティングを開くことを希望しているNAメンバーが4人いるため、NAグループができるとみてよいだろう。
- 2017年5月19日～21日には、[第5回 東アフリカ コンベンション](#)（EACNA）がケニアのモンバサで開催された。EACNAは、過去4回までタンザニアのダルエスサラームやザンジバルで開催されてきたが、今回初めてケニアでの開催となった。そして、第1回EACNAの開催直前に開かれた会議で「アフリカ大陸ゾーンフォーラム」が結成されて以来ずっと、NAWSは年1回のアフリカのNAによる集会を支援してきた。EACNAが回を重ねるごとにアフリカのNAが変わっていく様子を目の当たりにすることは心温まるものであり、また、シンプルなメッセージに込められた力をまざまざと思い起こさせるものでもあった。私たちは今回、ウガンダ、ルワンダ、タンザニア、ザンジバル、ケニアのスワヒリ語を話す代表たちによる会議を開き、それぞれのNAで取り組んでいる翻訳作業を進めることにつとめた。それぞれに原稿がそろってはいるのだが、まだNAのメッセージをスワヒリ語に正確に反映させる方法について共通の理解を見いだすに至っていない。
- 私たちは、[バジャランド エリア（ウイスコンシン州）](#)で年に3～4回開かれるエリアのイベントにインターネットによって参加した。会場は地元のコーヒーハウスであったが、屋外で回復を祝う催しもいくつか用意されていた。このイベントの参加者は新しいメンバーから古いメンバーまでさまざまであるため、私たちはNAのサービス機構全体について基本的なことがわかるようにしながら、NAWSの最新情報を伝えた。そして、メンバーとグループとワールドサービスにはつながりがあることを説明したうえで、長期的なプランを立てる方法、プロジェクトの最新情報、メンバーがプロジェクトに参加する方法について再確認をしてみた。テクノロジーを利用することで、このようなエリア独自のイベントに参加できるのだから、ありがたいことだと思う。
- 私たちは、5月の最後の週末にワイオミング州のシャイアンで開催されたURMRCNA（[アッパー・ロッキーマウンティン・コンベンション](#)）に出席して、『ガイディングプリンシプルズ』に関するワークショップと「伝統6」に関するワークショップを行った。参加メンバーの多くが、少人数のグ

ループによるディスカッションにもIDT（検討すべき課題）に関するワークショップにもそれまで出席したことがなかったため、このワークショップであったことを自分たちのエリアやホームグループに持ち帰ろうという意欲に溢れていた。URMRCNAは、NAWSが参加するにはかなり小さなイベントであるが、このようにワークショップを開かせてもらえばNAWSと交流する機会のないメンバーたちに手を差し伸べることができる。ワールドサービスがメンバーたちに顔を見せることは、少なくとも、少人数のグループによるディスカッションと一般的なワークショップの形式を紹介することと同じくらい大事なことである。

- 2017年6月2日～4日には、カリフォルニア州トレイシーで「[ミッドステート リージョナル アssenブリー](#)」が開催された。トレイシーはNAのサービスが行き届かない地域だ。週に3回のミーティングが開かれてはいても、メッセージが運ばれていない事務所がひとつある。最寄りのエリアは30マイル離れたストックマンにあるため、いくつかの異なる12ステップグループによって分断されている。この「ミッドステート リージョナル アssenブリー」の開催期間中には、のべ100人のメンバーが参加した。『ガイディングプリンシプルズ』に関するワークショップは関心を集め、大いに盛り上がり、出席者も非常に多かった。そしてNAWSに関する最新情報は、ほとんどのメンバーにとって得るものが多くて刺激になったためか、NAワールドサービスと連絡を取り合う方法について盛んに意見が交わされた。また、このアssenブリーでは、ウェビナー（オンラインのセミナー）や出版物に関するアイデアが好評であった。トレイシーが遠隔地であるということから、日曜の朝に開かれた3つ目のセッションでは「遠隔地のサービス」に関するウェビナーからの情報をもとに話し合いが行われた。出席者の多くが、現行の同ウェビナーに参加して会員登録をしていたのだ。

NAのフェローシップディベロップメントに関する取り組みでは、対面による交流や、PR、サービス資料の開発をはじめとするNAワールドサービスによるさまざまな活動のほかにも、**翻訳**が重要になります。ここに、最近の出版物をいくつか紹介しましょう。

- ベンガル語（バングラデシュ）によるIP # 1
- ネパール語によるIP # 6
- カンナダ語によるIP # 6
- ロシアのメンバーによる個人の物語を掲載するために改訂されたロシア語版『ホワイトブックレット』のほか、ロシア語によるIP # 13、26、27。
- デンマーク語による『今日だけ』と『ベーシックテキスト』第6版の改訂版
- アイルランド語（ゲール語）によるキータグ
- スペイン語による「NA・アンド・パーソンズ・レシービング・メディケーション～アシステッド・トリートメント（NAと投薬支援治療を受けている人たち）」

[電子版のNA文献](#)には、以上のほかにイタリア語版とスペイン語版の『ベーシックテキスト』が加わりました。また、電子版のNA文献を探しているメンバーたちのために、na.orgに検索ページも設けました。www.na.org/elitでご確認ください。

『NAWSニュース』を定期購読すれば、
ワールドボードによる最新の情報がわかります。

Calendar flashback

Twenty years ago, the NA Way events listing page changed names from "Comin' up" to "Calendar." What didn't change was the continually growing number of worldwide events. Back then, although a few listings included an email address (or a long, complex URL for more info), most listed a postal address to write to for more information. Today it's rare to see a Calendar listing with a postal address . . . but the ongoing growth of NA and NA events endures.

CANADA

British Columbia 31 Oct-2 Nov 1997; Pacific Northwest Regional Convention; Renaissance Hotel Harborside, Vancouver. *The 40th PNWCNA will be held this year and will feature a carnival event.*

INDIA

Delhi 7-9 Nov 1997; Delhi Area Convention; Bhogal Agarsen Bhavan, Brij Ghat, near Garth Mukteshwar, Uttar Pradesh. *The theme for this year's DACNA 13 is "Many Lives, One Journey."*

IRELAND

Dublin 17-19 Oct 1997; 13th Irish Regional Convention; The Grand Hotel, Malahide. *Wexford Town is the location for 2017's IRCNA 32.*

ISRAEL

Haifa 4-7 Sept 1997; 14th European Convention and Conference; Exhibition Convention Center, Haifa. *ECNA 33 (in the beach town of Portimão, on Portugal's southern coast) included daily yoga and Tai-chi sessions, a sunset party, live concerts, and a space dedicated to playing traditional Portuguese games.*

PHILIPPINES

Manila 16-18 Jan 1998; 3rd Philippine Regional Convention; Santuario de San Antonio; Forbes Park, Makati. *Today there are nearly 50 meetings in the Philippines.*

UNITED STATES

California 24-26 Oct 1997; Western States PI and H&I Learning Days; Crowne Plaza SFO, Burlingame. *This event evolved into Western States Learning Days and then into its current Western Service Learning Days. The 31st WSLD rotated to Monterey Bay, California.*

Hawaii 30 Oct-2 Nov 1997; 6th Hawaii Regional Convention; Kona Surf Resort. *Hawaii celebrated its 35th regional convention in 2017 with the theme "E Pupu Kahi – We Are One."*

Puerto Rico 11-13 July 1997; Unidos Podemos 8; Isla Verde. *NA Puerto Rico gathered for its 27th Convención Unidos Podemos (United We Can) in August 2017.*

Tennessee 26-30 Nov 1997; Volunteer Regional Convention; Hyatt Regency, Knoxville. *VRCNA is held over the US Thanksgiving weekend each year. In 2017, with a theme of "Recovery Rocks," VRC celebrates its 35th year.*

Wisconsin 24-26 Oct 1997; Wisconsin State Convention; Racine Marriott, Racine. *In its 34th year, WSNAC rotates to Oshkosh, WI, hosted by the Inland Lakes Unity Area with the theme, "Together We Can."*





CALENDAR

Multiday events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at www.na.org/events. (If you don't have internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or *The NA Way*; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Argentina

Cordoba 3-5 Nov; Argentina Regional Convention 25; Hotel Portal del Lago, Cordoba; www.na.org.ar

Brazil

Bahia 23-26 Nov; Brazil Regional Convention 20; Gran Hotel Stella Maris, Salvador; www.convencaoregiaobrasil.com.br

Colombia

Bogotá 11-13 Nov; Bogotá Area Convention 4; Auditorio Universidad Cafam, Bogotá; sitio.nabogota.org/index.php

Greece

Corinthia 3-5 Nov; The Ties That Bind Us: 30 Years NA Greece; King Saron Hotel, Corinth; nagreece.gr

India

West Bengal 1-3 Feb; Indian Regional Convention 9; Hotel Diamond Glory, Mandarmani; www.facebook.com/ircna9

Ireland

Wexford 17-19 Nov; Irish Regional Convention; Clayton Whites Hotel, Wexford; na-ireland.org

Lithuania

Kaunas 4-5 Nov; Lithuanian Convention; Europa Royale Hotel, Kaunas; lietuvos-na.lt

Nepal

Ilam 10-12 Nov; Eastern Area Convention; City Hall, Ilam; event info: +977.9813933636

2) Chitwan 2-4 Feb; Chitwan Area Convention 2; Narayani Resort Gaidakot, Chitwan; event info: 9865350602

South Africa

17-19 Nov; South African Regional Convention 24; YFC Cyara, Magaliesburg, Johannesburg; www.na.org.za

United States

Alabama 3-5 Nov; Greater Birmingham Area Convention 22; Holiday Inn Airport, Birmingham; event info: 205.902.4987

2) 12-14 Jan; Central Alabama Area Convention 21; DoubleTree Hilton Downtown Montgomery, Montgomery; www.alnwfl.org

Arizona 1-4 Feb; Arizona Men's Spiritual Retreat; Franciscan Renewal Center, Scottsdale; maccna.org

Arkansas 19-21 Jan; Winter Convention; Lindsey Resort, Heber Springs; arscna.org

California 30 Nov-3 Dec; Men's Spiritual Retreat; Serra Retreat, Malibu; mensnaretreat.com

2) 5-7 Jan; TAC Convention 18; Red Lion/Holiday Inn, Redding; tac-convention.com

Colorado 3-5 Nov; Colorado Regional Convention 31; Crowne Plaza Convention Center DIA, Denver; nacolorado.org/crcna

Connecticut 5-7 Jan; Connecticut Regional Convention 33; Hilton Stamford Place, Stamford; ctnac.org

Florida 3-5 Nov; First Forest Area Spiritual Retreat; Retreat at Silver Springs, Ocala; forestareana.org

2) 1-3 Dec; Celebration of Unity Convention; Lake Yale Conference Center, Leesburg; cou.orlandona.org

Georgia 23-26 Nov; West End Area Convention 31; Renaissance Hotel, Atlanta; westend.grscna.com

Illinois 10-12 Nov; Greater Illinois Regional Convention 21; Pere Marquette, Peoria; centralillinoisna.org

2) 25-28 Jan; Chicagoland Regional Convention 30; Hyatt Regency McCormick Place, Chicago; crcofna.org

Kentucky 5-7 Jan; Louisville Area Convention 28; nalouisville.net

Maryland 24-26 Nov; Free State Regional Convention 25; Delta Hotels Baltimore, Hunt Valley; fsrcna.org

Massachusetts 3-5 Nov; Pieces to Recovery Courage 2 Change; Holiday Inn, Mansfield; nera.org

2) 12-14 Jan; Boston Area Convention 18; Boston Park Plaza Hotel, Boston; nera.org

Michigan 10-12 Nov; Macomb Area Convention 7; Wyndham Garden, Sterling Heights; michigan-na.org/macomb-area

Missouri 2-4 Feb; Cabin Fever Prevention Convention 26; Lodge of the Four Seasons, Lake Ozark; cabinfeverconvention.org

Nevada 3-5 Nov; Sierra Sage Regional Convention 22; Grand Sierra Resort-Convention Center, Reno; www.sierrasagena.org

New Jersey 3-5 Nov; NE New Jersey Area Convention; Renaissance WoodBridge Hotel, Iselin; nanj.org

2) 29 Dec-1 Jan; Bergen Area Convention 24; Hanover Marriott, Whippany; newyearnewlife.org

New York 17-19 Nov; Western New York Regional Convention 22; Hyatt Regency, Buffalo; nawny.org

2) 19-21 Jan; Nassau Area Convention 15; Long Island Huntington Hilton, Melville; nacna.org

3) 2-4 Feb; In the Spirit of Love 30; Holiday Inn, Waterloo; flana.net

North Carolina 5-7 Jan; Spiritually High in the Land of the Sky 33; Crowne Plaza Resort, Asheville; spirituallyhigh.org

2) 26-28 Jan; The Road Home 10; DoubleTree Oceanfront, Atlantic Beach; theroadhomena.org

North Dakota 10-12 Nov; Upper Midwest Regional Convention 34; Baymont Inn and Suites, Fargo; umrna.org

Ohio 24-26 Nov; Unity Weekend 5; Crowne Plaza Cincinnati, Blue Ash; event info: 513.526.6834

2) 5-7 Jan; Central Ohio Area Convention 27; Crowne Plaza North Hotel, Columbus; nacentralohio.org

3) 2-4 Feb; Toledo Area Convention 21; Holiday Inn French Quarter, Perrysburg; natoledo.com

Oklahoma 12-14 Jan; Norman Winter Convention; Sheraton, Midwest City; wascokna.org

Pennsylvania 10-12 Nov; Delco Area Convention 3; Clarion Hotel, Essington; nadelco.org

2) 16-19 Nov; Start to Live 35; Seven Springs Hotel and Resort, Seven Springs; www.starttolive.org

3) 12-14 Jan; 1st Together We Grow Up Convention; Clarion Hotel, Essington; <http://facebook.com/groups/180755792448542>

South Carolina 17-19 Nov; Ultimate Convention 2; Crown

Reef Resort, Myrtle Beach; tunacon.org

2) 24-26 Nov; Serenity Fellowship Reunion; Sea Mist Oceanfront Resort, Myrtle Beach; event info: 910.840.0809

3) 19-21 Jan; Upper South Carolina Area Convention 38; Greenville Marriott, Greenville; www.cma.org

Tennessee 23-26 Nov; Volunteer Regional Convention 35; Holiday Inn Memphis Airport, Memphis; vrcna.com

Texas 3-5 Nov; Best Little Regional Convention 29; Pearl on the Concho, San Angelo; bigcountryna.com

2) 12-14 Jan; Esperanza Area Convention 4; El Tropicano Riverwalk Hotel, San Antonio; eanaonline.org

Virginia 12-14 Jan; Virginia Regional Convention 36; Hotel

Roanoke & Conference Center, Roanoke; avcna.org

Washington 3-4 Nov; Washington/N Idaho Regional Service Learning Days; Saint Paul's Episcopal Church, Walla Walla; wnirna.org

Wisconsin 2-4 Feb; Greater Milwaukee Unity Convention 21; Hyatt Regency Milwaukee, Milwaukee; namilwaukee.org



World Convention of NA 37

The Magic Is *Still* Real

Orlando, Florida, 30 August – 2 September

If you or someone you know is interested in being considered as a WCNA 37 **workshop or main speaker**, please provide the information below, along with a speaker recording, if available, before **31 March 2018**. Mailed submissions may include a CD or MP3 recording. Online submissions will receive instructions for submitting an MP3 recording.

Cleantime requirements are five years for workshop speakers and ten years for main speakers. In addition, workshop speakers must be pre-registered for WCNA 37 to be considered.

We are also asking for volunteers with at least five years clean to participate in the WCNA 37 speaker evaluation process. The commitment requires reviewing speaker recordings over the next few months (November 2017–March 2018). If you are interested in serving as a **speaker evaluator**, send us your information below before **31 December 2017**.

I am interested in: workshop speaker main meeting speaker speaker evaluator

first name _____ last/surname _____

address _____

city _____ state/province _____

country _____ postal code _____

cleandate _____ telephone _____

email _____

If this is a speaker submission:

name of person submitting recording _____

submitter's telephone _____ submitter's email _____

**Complete and submit this form online at www.na.org/wcna or print and send form by post to:
NA World Services - WCNA 37 Speakers; PO Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA**

NAWS Product Update

Line-Numbered Basic Text

Narcotics Anonymous

This version of the Basic Text facilitates precise identification of text location for review, discussion, and Stepwork with a format that numbers each full sentence in the left page margin.

Softcover with an 8½" x 11" finish size.

Item No. 1101LN Price US \$11.55/10.00 €



Farsi

Guiding Principles:

The Spirit of Our Traditions

اصول راهنما روح سنت های ما

Item No. FA1201

Price US \$11.00/9.70 €



Danish

The NA Step Working Guides

NA' Vejledninger i trinarbejde

Item No. DK1400 Price US \$8.50/7.50 €



Papiamento

Keytags: Welcome – Multi-Year

Item No. PM4100 – 4108 Price US \$0.53/0.47 €



Portuguese

Sixth Edition Basic Text
Narcóticos Anónimos

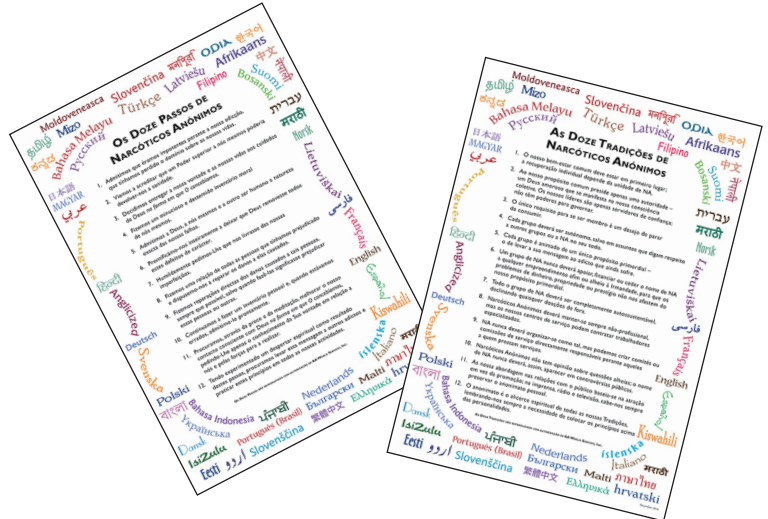
Item No. PO1101
Price US \$11.55/10.00 €



Vinyl Color Posters

Twelve Steps & Twelve Traditions

Item No. PO9081S – PO9081T Price US \$18.50/15.75 €



To Be Discontinued

Sponsorship Gift Edition

Item No. 1131 Price US \$20.90/18.50 €

Coming Soon!

2018 Calendar!

Available late October

Get your daily recovery inspiration and encouragement with excerpts from our *Just for Today* book. 4¼" x 5¼" tear-off pages with easel.

Item No. 9500 Price US \$11.75/10.40 €

Arabic

It Works: How & Why

إنه ينجح

Item No. AR1140 Price US \$9.00/7.90 €

Bahasa Melayu

Basic Text (5th Edition)

Narcotics Anonymous

Item No. BM1101 Price US \$7.90/6.90 €

Russian

Living Clean: The Journey Continues

Жить чистыми:

Путешествие продолжается

Item No. RU1150 Price US \$9.75/7.70 €

Spanish

Concordance Line-Numbered

Basic Text

Narcóticos Anónimos

Item No. SP1102LN Price US \$11.55/10.00 €

Guiding Principles:

The Spirit of Our Traditions

**Los principios que nos guían:
el espíritu de nuestras tradiciones**

Item No. SP1201 Price US \$11.00/9.70 €

WCNA 37 ホテルのご案内

ホテルの予約ぐらい自分でできるというメンバーが多いとは思いますが、こちらで団体予約をしたホテルを利用することがWCNAの運営にとっても役立つのです。ですからWCNAでは、ぜひ、事前の参加登録とあわせて以下にご紹介するホテルを予約していただくようにお願いします。しかも、2018年7月31日までに参加登録とホテルの予約をすませると（キャンセルをしなれば）、「3泊無料」になる抽選にも参加できるのです。当選した2名に対しては、WCNA開催期間中の3日間にかかる部屋代と税金をこちらで肩代わりいたします。では、みなさん、オーランドでお会いしましょう。

以下の番号は、ホテルマップにも表示されています。金額は、シングルルームまたはダブルルームの一泊予約料金になっています。なお、予約の受け付けには、専用のフリー・ダイヤルをご用意しました。合衆国内であれば844.460.9824、外国からかける場合は+1 704.419.8426をご利用ください。（月～金 午前8:30 - 午後9:00 東部標準時）

1. コトヤード・オーランド・インターナショナル・ドライブ/イベントセンター —— \$149
2. デイズイン・オーランド・イベントセンター/インターナショナル・ドライブ —— \$106
3. ダブルトゥーリー・バイ・ヒルトン・オーランド・アット・シーワールド —— \$129
4. エクステンディッド・ステイ・アメリカ・ウェストウッド・フレバーード・ノース —— \$85
5. エクステンディッド・ステイ・アメリカ・ウェストウッド・フレバーード・サウス —— \$90
6. ヒルトン・オーランド —— \$159
7. ホリデーイン・エクスプレス&スイーツ・オーランド・アット・シーワールド —— \$119
8. ハイアット・リージェンシー・オーランド —— \$159
9. ローゼン・セントレ・ホテル —— \$119
10. ローゼンイン・アット・ポインテ・オーランド —— \$95
11. ローゼン・プラザ・ホテル —— \$117
12. タウンプレイス・スイーツ・オーランド・アット・シーワールド —— \$129

ホテルの予約キャンセル料

予約をした後は、どの時点でキャンセルする場合にもキャンセル料が発生します。金額については以下の日程に基づいて計算されます。
—2018年8月7日までにホテル予約をキャンセルした場合には、50ドルのキャンセル料を請求。
—2018年8月8日以降にホテル予約をキャンセルした場合には、200ドルのキャンセル料を請求。

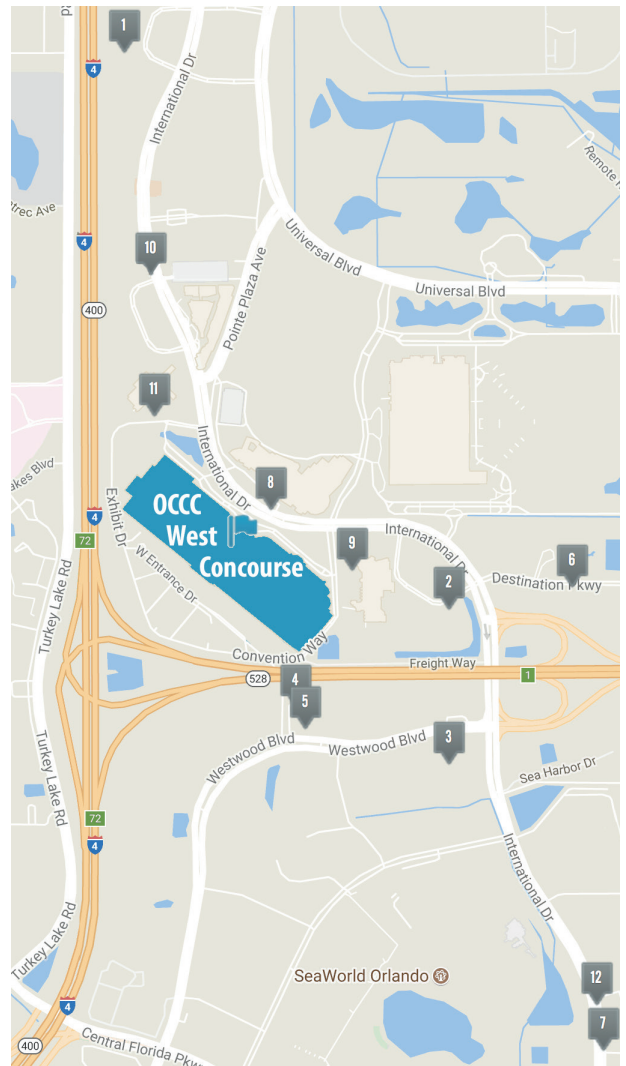
予約の確認と変更

2018年8月23日以前の予約変更は、ウェブサイトを利用するか、または専用のフリー・ダイヤルに直接ご連絡ください。合衆国内であれば844.460.9824、外国からかける場合は+1 704.419.8426となっています。2018年8月23日を過ぎるまでは、予約したホテルへ問い合わせることはできません。

ご案内するホテル情報は、随時変更される可能性があります。インターネットによる予約申し込みや、ホテルの最新リストと予約およびキャンセルの詳細などの確認には、www.na.org/wcna をご利用ください

どうして、事前に参加登録をするのか？

1. 事前参加登録制にすることで、NAの資金を無駄に使用することもなくなり、参加者の要望にもうまく応えられるイベントが企画できる。
2. 今回は、現地での手続きに自動端末機を利用するため、事前に参加登録しておけば登録パッケージとオリジナルグッズの受け取りがすみやかになる。
3. WCNA 37は参加登録が必要なイベントであるため、参加登録コーナーへの入場を除き、オレンジカウンティ・コンベンションセンターへの入場には必ず参加登録バッジの表示が求められる。（参加登録バッジがあれば、コーヒーハウスのイベントやダンスなど、チケットのいらぬイベントはどれも入場自由になる）
4. スペシャル・イベントの座席は、事前の参加登録の日付で指定される（チケット購入の日付ではない）。
5. 事前参加登録の受付は2018年7月31日で終了し、これ以降は、125ドルで一般参加登録を受け付ける。
6. 現地でのオリジナルグッズ販売でも、事前参加登録者なら木曜日からショップに入場できる（一般参加登録は、金曜日まで入場できない。）
7. 2018年7月31日までに事前参加登録をしたメンバーは（キャンセルをしなれば）、全員が抽選に応募できる。当選者2名には、コンベンションを丸ごとタダで楽しめるパッケージが贈られる。これで参加登録費は無料となり、WCNAのスペシャル・イベントも全部無料で入場できる！（ただし、事前に予約したオリジナルグッズは無料にはならない）



コンベンション開催前後のイベント

オーランドは、アメリカで最も観光客の多い都市であり、WCNAのようなイベントの開催地には最適でしょう。オーランドと周辺地域、オレンジカウンティ・コンベンションセンターなどに関する情報は、www.visitorlando.com と www.occc.net/Attendee に掲載されています。WCNA開催前後のイベント（情報）については、詳細がわかり次第にお知らせいたします。

コンベンションの後は、クルーズでキューバをめぐる旅に！

私たちは、魅惑のキューバへの船旅について細かい調整を行なっているところです。ハバナでは新市街から旧市街へと抜ける海岸線のマレコン通りを散策しながら、多彩な文化に触れることができます。パロック様式の建築物と石畳の通りからなる「オールド・ハバナ」の街並みは、まさに驚嘆すべき眺めです。そしてキューバといえば、クラシック・カーとプレミアム・シガーで有名ですが、国立美術館には世界に誇る美術コレクションがあるし、絶品と定評のあるキューバ料理のレストランがいくつもあります。みなさんは料理を堪能し、ビーチや景色に魅惑され、人なつこで知られたキューバの人々から心のコもったもてなしを受けるでしょう。詳しくは、www.montrosetravel.com/wcnacruise をご覧ください。

WCNA 37: あの不思議な力はここに

2018年8月30日～9月2日
アメリカ合衆国
フロリダ州オーランド

名前 _____ 名字 _____

住所 _____

_____ 国名 _____ 郵便番号 _____

Eメールアドレス _____ 電話番号 _____

同伴者 _____

WCNA 37は参加登録が必要なイベントであるため、参加登録手続きをする人以外は、WCNA参加登録バッジを着用せずにオレンジカウンティ・コンベンションセンターに入場することはできません。また、コーヒーハウスのイベントとダンスの会場も、このバッジで入場可能になります。ただし、それ以外のイベントではそれぞれあらためて入場チケットをご購入ください。WCNA 37は8月30日の午前中に開幕し、9月2日の午後2時ごろに閉幕となります。

	人数	料金	合計金額	パート4: 支払いの方法と金額
パート1: 事前の参加登録 (一般参加登録は、8月1日より125ドルで受付開始)	_____	× \$110 = \$	_____	パート1 \$ _____ + パート2 \$ _____ + パート \$ _____
事前の参加登録料の合計N		\$ _____		小計 \$ _____
				ニューカマー献金 \$ _____
				= 総計 \$ _____

パート2: 事前の参加登録によるオリジナルグッズ購入
以下のオリジナルグッズは、事前の参加登録によってのみ購入が可能です。注文は、2018年4月30日までお願いします。期日を過ぎると入手できる数やサイズが限られてしまうため、お早めにご注文ください！

特製マグカップ _____ × \$16 = \$ _____

刺しゅう入りTシャツ

男性用 _S _M _L _XL _XXL _XXXL _____ × \$22 = \$ _____

女性用 _S _M _L _XL _XXL _____ × \$22 = \$ _____

プリントTシャツ

男性用 _S _M _L _XL _XXL _XXXL _____ × \$18 = \$ _____

女性用 _S _M _L _XL _XXL _____ × \$18 = \$ _____

小計 = \$ _____

フロリダ州消費税: x 6.5% = \$ _____

オリジナルグッズ購入代金 総計 \$ _____

USDルによる支払い方法(✓を入れてください)

小切手/郵便為替(注: 日本国内のものは使えません) AMEX VISA MASTER CARD DISCOVER DINERS CLUB

_____ クレジットカードの番号 _____ 有効期限(西暦) _____ カード裏面の確認番号 _____

_____ クレジットカード名義人の氏名 _____ 署名(サイン) _____

パート3: コンベンションのイベント
スペシャル・イベントはどれも2018年8月1日までにチケットを購入されると、(チケット購入の日付ではなく)事前参加登録の日付によって座席が指定されることとなります。友人との同席を希望する場合には、食事付きのイベントのテーブル席を購入するか、同行者の人数分のチケットを一人のメンバーがまとめて購入するといいでしよう。もちろん、まだ見ぬ友人たちと同席するのも悪くはありませんよ！

ブルース・ランチョン: 8月30日木曜日(ランチの提供午前11:45～午後12:45)

ブルース・ランチョン - 1席 _____ × \$55 = \$ _____

ブルース・ランチョン - 10人用テーブル席 _____ × \$550 = \$ _____

ブルース・ランチョンのチケット購入者のうち、ベジタリアンの人数 _____

ジャズ・ブランチ: 8月31日金曜日(ブランチの提供 午前10:00・11:00)

ジャズ・ブランチ - 1席 _____ × \$50 = \$ _____

ジャズ・ブランチ - 10人用テーブル席 _____ × \$500 = \$ _____

ジャズ・ブランチのチケット購入者のうち、ベジタリアンの人数 _____

コメディ・ショー: 8月30日木曜日(午前10:00～内容がかなりカゲキになるかもしれません)

コメディ・ショー - 1席 _____ × \$35 = \$ _____

バンケット(晩餐会): 9月1日土曜日(ディナーの提供 午後5:30～6:30)

バンケット - 1席 _____ × \$65 = \$ _____

バンケット - 10人用テーブル席 _____ × \$650 = \$ _____

バンケットのチケット購入者のうち、ベジタリアンの人数 _____

コンサート: 9月1日土曜日(午後10:00)

1席 _____ × \$75 = \$ _____

イベント・チケットの合計金額 \$ _____

インターネットによる予約申し込みは、www.na.org/wcna でお願ひします。

小切手または郵便為替(注: 日本国内のものは使えません)は、降り出し先をWCNA 37として、以下のアドレスへ郵送してください。
c/o NAWS; PO Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA

参加登録申し込み書のファクス送信先: +1.818.700.700
電話の問い合わせ先: +1.818.773.9999x771
月曜～金曜/午前8:00～午後5:00

クレジットカードによる支払いの制限もしくは拒否に関する一切の権利は、WCNAにあります。

参加申し込み、オリジナルグッズの注文、イベントの予約に関する変更受付は、2018年6月30日までとします。この期日を過ぎた場合、キャンセル、交換、返金には一切応じられません。



インターネットによる予約申し込みは www.na.org/wcna